



平成23年10月21日

各 位

神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 14 号
株 式 会 社 メ デ ィ ネ ッ ト
代 表 取 締 役 社 長 木 村 佳 司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 邦彦
電 話 番 号 045(478)0041(代表)

米国での樹状細胞ワクチン技術開発に着手
～海外市場の事業展開を加速～

株式会社メディネットは、デューク大学メディカルセンター(Duke University Medical Center、米国ノースカロライナ州)と、樹状細胞(DC)ワクチン技術開発に係る委託研究契約を締結いたしました。

デューク大学H. Kim Lyerly教授らのチームは、アメリカ食品医薬品局(FDA: Food and Drug Administration)の承認の下、これまで多くのDCワクチンに関する臨床試験を実施し、豊富な経験と卓越した知見を有しております。

当社は、ゾレドロン酸による感作(国際公開番号:WO2006/006638、WO2007/029689)と、米国MaxCyte社のエレクトロポレーションⁱ技術を組み合わせることで、従来法と比べ、DCのがん抗原取り込み効率および細胞傷害性T細胞(CTL)の誘導を大幅に向上させる「樹状細胞ワクチン」技術を開発し、実用化しています。また、平成22年4月9日及び12日付にて開示のとおり、海外展開を踏まえ、米国MaxCyte社のエレクトロポレーション技術に係るライセンス契約をアジア・パシフィック地域(中国、オーストラリア、シンガポール、タイ、台湾)に拡大し、独占権を取得していますⁱⁱ。

本開発では、当社の独自の「樹状細胞ワクチン」技術とH. Kim Lyerly教授らのチームの知見・ノウハウを活用し、規制当局の承認に必要なDCワクチン開発に係る「前臨床試験データ」を取得するとともに、そこで得られたデータを基に、樹状細胞ワクチン技術のグローバル開発を目指します。

メディネットは、今後、本開発で得られる成果を基に、各国の規制、市場環境などを慎重に検討した上で、アジア・パシフィック地域を中心としたグローバル展開のスピードを加速してまいります。

尚、本件が短期的な業績に与える影響は軽微であります。

以上

本件に関するお問い合わせ:

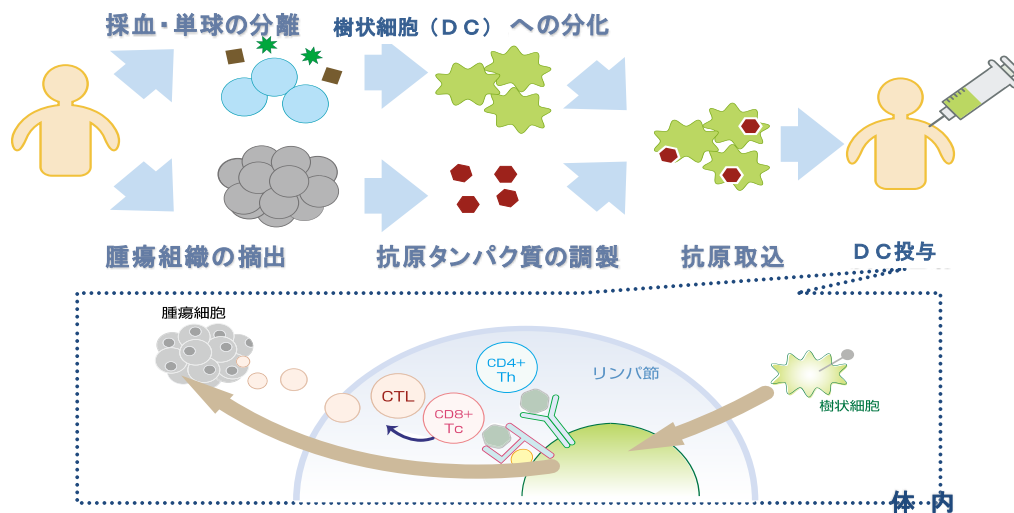
株式会社メディネット 経営企画部

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-14

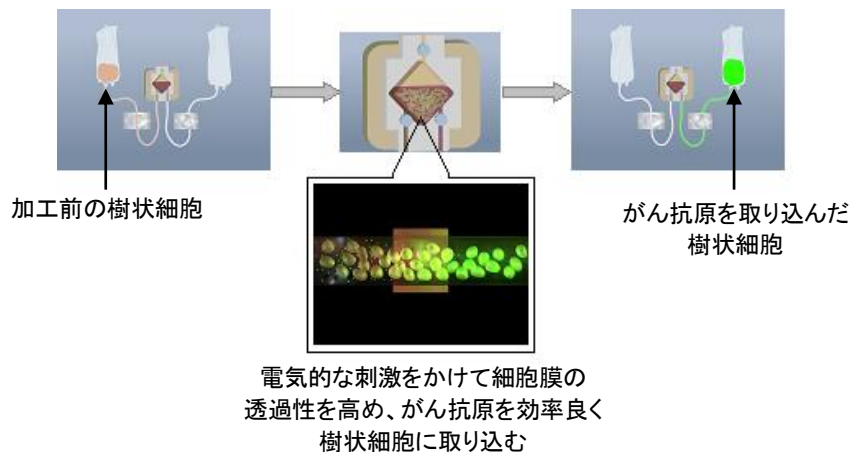
045-478-0041(代表)

【参考】樹状細胞(DC)ワクチンについて

樹状細胞は、がん細胞に由来するたんぱく質を貪食し、それをがん抗原として T リンパ球に提示することにより、がん細胞を特異的に攻撃する細胞傷害性 T 細胞 (CTL) を誘導する。樹状細胞ワクチンは、この働きを利用した免疫細胞治療の一種で、患者自身の末梢血中単球から樹状細胞を分化、誘導し、その樹状細胞にがん抗原を導入、提示させた上でワクチンとして投与することで、患者体内で CTL を誘導し、がん細胞を特異的に攻撃させようとする治療技術です。



【エレクトロポレーション法によるがん抗原取り込みのイメージ】



i エレクトロポレーション

細胞懸濁液に電気パルスかけることで細胞膜に微小な穴を開け、タンパク質などを細胞内部に送り込む方法。電気穿孔法とも呼ばれる。

ii 平成 22 年 4 月 9 日付リリース

「米国 MaxCyte 社との技術ライセンス範囲拡大のお知らせ」

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=787417>

平成 22 年 4 月 12 日付リリース

「(訂正)米国 MaxCyte 社との技術ライセンス範囲拡大のお知らせ」

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=787971>